

専門家派遣

ラオスに対する省エネ支援事業（第2次ワークショップ）を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、ラオス第1次ワークショップ（2018年8月）、フォロー訪問（2018年10月）を踏まえた今年度活動の成果と今後の進め方の確認を行うため、以下をメインテーマに第2次ワークショップをビエンチャンで開催しました。

- (1) 省エネ首相令案最終化の進捗確認と助言
- (2) Rating Standard、Energy Label 等 S&L 制度案最終化の確認
- (3) エネルギー管理制度整備を加速するための推進体制構築の支援

□Dec. 18, 2018 / Dec. 20, 2018 Vientiane, Lao PDR



ラオス政府（MEM）代表挨拶 モデルプロジェクト提案（ECCJ） Stakeholder Mtg. での議論



EMS 情報提供（DEDE タイ） S&L 情報提供（EC マレーシア） S&L 情報提供（NEA シンガポール）

今回の第2次ワークショップには、エネルギー・鉱物資源省（MEM）、工業・商業省、科学技術省、ラオ電力局、ラオ DSM エネルギー効率プロジェクト、ラオ国立大学、ラオ建築協会、たばこ・鉄鋼・コンベンションセンター・ホテルなど産業・ビル民間部門の代表者、タイ、マレーシア、シンガポール政府からの ASEAN サポーター、そして ASEAN エネルギーセンター（ACE）など 25 名が参加しました。

○省エネ首相令の最終化については、ECCJ から改善に向けた 17 項目のコメントを実施。MEM は、ECCJ の提言を踏まえて首相令案の最終化を行い、2019 年初頭の承認を目指します。

○S&L 制度整備については、Rating Standard、Energy Label 案に関する ECCJ からの提言に基づき、最終化のための必要事項を明確化。また、供給事業者登録制度、製品登録制度、性能評価制度など運用システム確立に向けては、マレーシア、シンガポールからのサポーターも交えて活発な意見交換を行いました。

○エネルギー管理制度整備については、EC ガイドライン、EM マニュアル、エネルギー管理士制度等の内容について、参加者間の理解を深めました。また、整備推進体制構築のための Stakeholder Meeting を開催し、産官学による“Model Project”結成が合意されました。今後は本 Project の活動を通じて、エネルギー管理制度の各構成要素の検討とドラフト作成等が行われることとなります。

今年度の活動成果と今後の法制度整備のアクションプランは、2 月末に予定される AJEEP Post Meeting で MEM から報告される予定です。

*AJEEP : ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム